

【SigmaSystemCenter 3.9】 iStorage M シリーズ(M120/M320/M320F 以降) の無停止データ移行および筐体間 LD 移動機能利用時の操作手順

利用条件・免責事項

本書の利用条件や免責事項などについては、次のページを参照してください。

<http://jpn.nec.com/site/termsfuse.html>

目次

1. LD 移行・移動を利用する際の作業手順	1
1.1 準備作業	1
1.1.1 メンテナンス設定(SSC 作業).....	1
1.2 移行・移動作業.....	1
1.2.1 LD 移行・移動(iSM 作業)	1
1.2.2 LD の割り当て解除(iSM 作業)	1
1.2.3 ストレージ収集(SSC 作業)	2
1.3 後作業	2
1.3.1 iStorage 装置撤去(iSM 作業)	2
1.3.2 ストレージ収集(SSC 作業)	2
1.3.3 メンテナンス解除(SSC 作業).....	3
2. LD 移行・移動を利用した際のイベント	4

はじめに

SigmaSystemCenter 3.9 から利用可能な iStorage M シリーズ(M120/M320/M320F 以降)の無停止データ移行機能および筐体間 LD 移動機能利用時の操作方法や注意事項について説明します。

注

SSC 3.9 を導入せずに iStorage の無停止データ移行機能および筐体間 LD 移動機能を使用しないでください。

無停止データ移行機能および筐体間 LD 移動機能を利用する場合、iStorage のストレージ制御ソフト 1210 以降が必要です。

iStorage の無停止データ移行機能および筐体間 LD 移動機能に関しては、iStorage のマニュアルを参照してください。

その他の用語については、SigmaSystemCenter や関連製品のマニュアルを参照してください。

※SigmaSystemCenter を SSC、SystemMonitor 性能監視を Sysmon、iStorageManager を iSM と記載します。論理ディスクを LD と記載します。

本資料では、以下の点について説明します。

- 「1. LD 移行・移動を利用する際の作業手順 (1 ページ)」
- 「2. LD 移行・移動を利用した際のイベント (4 ページ)」

1. LD 移行・移動を利用する際の作業手順

SSC 3.9 を導入し、iStorage の無停止データ移行および筐体間 LD 移動を行う際は、以下の手順にて SSC および SystemMonitor 上のデータを見直し・設定してください。

1.1 準備作業

ディスクアレイや iSM で移行・移動作業を行なう前に、作業の影響が出ないように SSC 上で準備作業を実施します。

1.1.1 メンテナンス設定(SSC 作業)

移行・移動する LD を利用している運用マシンをメンテナンスオンします。

メンテナンス操作は、[運用]ビューの[ホスト一覧]上のホストに対し、[メンテナンス]を実行します。

1. SSC の Web コンソールを起動し、ログインします。
2. 画面右上にある[運用]ビューをクリックして、左ツリー上の移行・移動対象の LD を利用しているマシンの運用グループをクリックします。
3. [ホスト一覧]で対象のホストにチェックを入れ、[操作..]コンボボックスの[メンテナンス]をクリックします。メンテナンスモードは[On]を選択して、[OK]をクリックします。

1.2 移行・移動作業

ディスクアレイや iSM で移行・移動作業、および、SSC 上で設定見直しを実施します。

1.2.1 LD 移行・移動(iSM 作業)

LD 移行・移動の作業を行います。

具体的な操作は iStorage のマニュアルを参照ください。

1.2.2 LD の割り当て解除(iSM 作業)

◆無停止データ移行の場合

移行元の LD セットから LD の割り当てを解除します。

具体的な操作は iStorage のマニュアルを参照ください。

◆筐体間 LD 移動の場合

本作業手順は、不要です。

1.2.3 ストレージ収集(SSC 作業)

構成変更後のディスクアレイの構成を SystemProvisioning に反映するために、ストレージ収集を行います。

ストレージ収集は、[管理]ビューの[サブシステム]、または[リソース]ビューの[ストレージ]ノードを選択し、[操作]メニューより実施します。

1. SSC の Web コンソールを起動し、ログインします。
2. 画面右上にある[管理]ビューをクリックして、画面左上ツリー上の[サブシステム]をクリックします。
3. 「サブシステム一覧」の「iStorageManager」の行をチェックして、リストの上にある[収集]をクリックします。

1.3 後作業

移行・移動後の構成の SSC への反映や準備作業で変更した設定を元に戻します。

1.3.1 iStorage 装置撤去(iSM 作業)

◆無停止データ移行の場合

iStorageManager から世代交代したディスクアレイの登録を削除します。

具体的な操作は iStorage のマニュアルを参照ください。

◆筐体間 LD 移動の場合

本作業手順は、不要です。

1.3.2 ストレージ収集(SSC 作業)

◆無停止データ移行の場合

装置撤去後の構成を反映させるためにストレージ収集を行います。

1. SSC の Web コンソールを起動し、ログインします。
2. 画面右上にある[管理]ビューをクリックして、画面左上ツリー上の[サブシステム]をクリックします。
3. 「サブシステム一覧」の「iStorageManager」の行をチェックして、リストの上にある[収集]をクリックします。

◆筐体間 LD 移動の場合

本作業手順は、不要です。

1.3.3 メンテナンス解除(SSC 作業)

「1.1.1 メンテナンス設定(SSC 作業) (1 ページ)」の手順を実施している場合、運用マシンをメンテナンスオフします。

1. SSC の Web コンソールを起動し、ログインします。
2. 画面右上にある[運用]ビューをクリックして、左ツリー上の移行・移動対象の LD を利用しているマシンの運用グループをクリックします。
3. [ホスト一覧]で対象のホストにチェックを入れ、[操作..]コンボボックスの[メンテナンス]をクリックします。メンテナンスモードは[Off]を選択して、[OK]をクリックします。

2. LD 移行・移動を利用した際のイベント

iStorage の無停止データ移行機能および筐体間 LD 移動機能をご利用の場合、業務運用上の影響はありませんが、ストレージデバイスの消失、または、ストレージに関連するイベントが発生する場合があります。

※イベントは、「LD の割り当て解除」(iSM 作業)または、「筐体間 LD 移動の完了」(iSM 作業)を実施した際に発生します。

◆SSC 運用上の影響

無停止データ移行機能および筐体間 LD 移動の対象となるホスト(マシン)で「ストレージパス障害用のポリシー」をご利用の場合、下記イベントが発生すると「VM の移動」または、「一部故障ステータスの設定」が動作する可能性があります。

※必ず、「[1.1.1 メンテナンス設定\(SSC 作業\) \(1 ページ\)](#)」の手順を実施してください。

発生イベントの例(VMWare)
アラーム「ストレージに接続できません」: エンティティ 192.168.0.20 の SNMP トラップが送信されました
アラーム「ホスト エラー」: エンティティ 192.168.0.20 の SNMP トラップが送信されました
イベント 3788 「Path redundancy to storage device eui.0009930003070011 degraded. Path vmhba2:C0:T10:L5 is down. Affected datastores: Unknown.」によって 192.168.0.20 でアラーム「ストレージに接続できません」が起動されました
192.168.0.20 上のアラーム「ストレージに接続できません」がアクションをトリガーしました
イベント 3787 「Path redundancy to storage device eui.0009930003070011 degraded. Path vmhba3:C0:T4:L5 is down. Affected datastores: Unknown.」によって 192.168.0.20 でアラーム「ストレージに接続できません」が起動されました
イベント 3786 「Issue detected on 192.168.0.20 in Datacenter: NEC_SATP_SPS: [C0000004] Path state moved to PERM_LOSS from STANDBY on vmhba2:C0:T10:L5 (eui.0009930003070011). (2019-03-07T16:58:24.285Z cpu15:80954)」によって 192.168.0.20 でアラーム「ホスト エラー」が起動されました
192.168.0.20 上のアラーム「ホスト エラー」がアクションをトリガーしました
イベント 3785 「Issue detected on 192.168.0.20 in Datacenter: NEC_SATP_SPS: [C0000004] Path state moved to PERM_LOSS from STANDBY on vmhba3:C0:T4:L5 (eui.0009930003070011). (2019-03-07T16:58:24.285Z cpu15:80954)」によって 192.168.0.20 でアラーム「ホスト エラー」が起動されました
ストレージデバイス eui.0009930003070011 へのパスの冗長性が低下しました。パス vmhba2:C0:T10:L5 がダウンしています。影響を受けるデータストア: Unknown。
ストレージデバイス eui.0009930003070011 へのパスの冗長性が低下しました。パス vmhba3:C0:T4:L5 がダウンしています。影響を受けるデータストア: Unknown。
Datacenter の 192.168.0.20 で問題が検出されました: NEC_SATP_SPS: [C0000004] Path state moved to PERM_LOSS from STANDBY on vmhba2:C0:T10:L5 (eui.0009930003070011). (2019-03-07T16:58:24.285Z cpu15:80954)
Datacenter の 192.168.0.20 で問題が検出されました: NEC_SATP_SPS: [C0000004] Path state moved to PERM_LOSS from STANDBY on vmhba3:C0:T4:L5 (eui.0009930003070011). (2019-03-07T16:58:24.285Z cpu15:80954)

**【SigmaSystemCenter 3.9】iStorage M シリーズ(M120/M320/M320F 以降)の無停止
データ移行および筐体間 LD 移動機能利用時の操作手順**

SSC0309-doc-0003

2020 年 03 月 1 版 発行

© NEC Corporation 2020